

やまゆり

学校だより

令和5年2月20日
86号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「 生徒の良さを伸ばし、課題を改善するための連携 」

「自律と協調」する気持ちを向上させる集会をしました

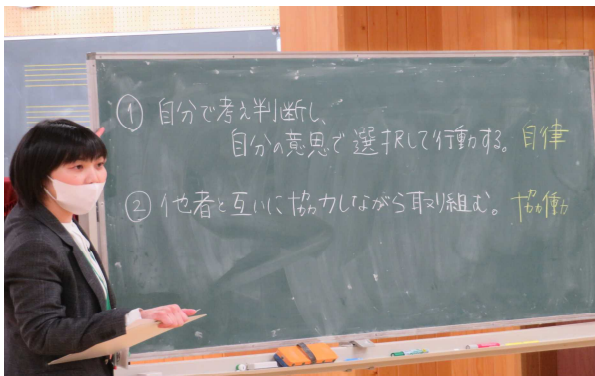
2月17日(金)の放課後に、全校生徒を対象に「気づき・考え・実行するための集会」を開催しました。前号でお知らせしたとおり、本校では学力等の「認知力」と自分で考え、判断して自分で実行する自律や友人と協調して活動する「非認知能力」を育成することを重視しています。

3年生は受験や卒業式、高校での生活、1・2年生は、三贈会や新学年での生活をどのように考え、自分で目標を立てて、努力するかについて「気づき・考え・実行するための集会」として教職員が企画して実行しました。

講師は、帝京大学空手道部4年生の「杉本奈美」さんをお迎えしました。奈美さんは、富士吉田市出身で、下吉田中学校を卒業後に親元を離れ、神奈川県の高校に進学してインターハイ選手として活躍し、日本一を目指して帝京大学の空手道部で活躍しました。帝京大学空手道部は、令和4年度の大学日本一を決める4つの大会を全て優勝(4冠達成)した実績があります。

中学・高校・大学での「自分で考え、自分で判断し、自分で努力し続けてやり抜く」ことや、「考えが異なる他者とどのように協調してチームとして活躍」したのか等について、話をして下さいました。二つの「形」の演舞も含め、今後の生活に対して本校の生徒一人一人が決意をもち、お礼としてひと言でも感謝のこトバを述べようと大勢が挙手している姿に大きな成長を感じました。

企画・司会等をしてくれた高村先生



保護者が本校出身者で形の説明をして頂いた



一つ目の形(かた)の演舞 「燕飛」(エンピ)



二つ目の形(かた)の演舞 「五十四保 小」(ゴジュウシホ ショウ)



生徒が学んだこと

1 自分で考え、自分の意思で選択して行動する (自律)

「心に残ったこと」・「気づいたこと」・「考えたこと」

主に「自分の意思を大切にする」

- 自分の弱さを知り、自分で強くなるために練習をした。
- 自分で夢をもち、自分で努力を続けることが大切。
- 中学や高校時代に思うように活躍出来なかった時に、「もっと強くなりたい」「日本一になりたい」という自分の気持ちに気づき、その気持ちを大切にしながら最後まで努力し続けた。
- 道場で空手を学ぶか、県外の高校で学ぶか迷ったが、「悔しい気持ち」を大切にしながら自分で決めて神奈川の高校に進学した。
- 自分の強い願いや夢がないと、困難を乗り越えることが難しい。
- 自分のための選択を、自分ですることが大切。
- になりたい自分や実現したい目標をしっかりとって、になりたい自分を自分で追いかける。
- 何かに一生懸命になれることはとても大切。そして、それは美しく、人間を生き生きさせる。

「部活動と勉強の両立」

- 空手道だけでなく、勉強も大切。
- 空手道をさせてもらえる事に感謝し、勉強も頑張って努力したこと。

2 「他者と協力しながら取り組む」 (協調)

「礼儀やマナーの大切さ」

- 「ありがとう」・「ごめんなさい」を素直に言えるようにする。それには勇気も必要だが、徹底

する。

「相談する・励ます」

- 辛いことも多い。同じ目標をもつ友人と相談することが大切。
- 信頼できる同期の友人はやはり大切。お互いの支えになる。

「意見の違いへの対応」

- 相手を変えようとするのではなく、自分が変わると周囲も変わる「主体変容」を大切にする。
- 相手の考えは認め、受けとめる。その上で、良い意見があれば提案する。
- 自分の考えを伝える、「伝え方」に気を付ける。
- 自分の考えも、違う友人の考えと比較しながら見直すことも大切。
- 友人の考えに同調してしまうと、自分が結局は後悔する。だから、自分の思いは相手に伝え、目標を本当に適えるためにはぶつかり合ったりもするが、それを乗り越えていくことができないと結果も残せない。
- 話し合いをした後の結果に対して、ぐちを言わない。相手の悪口を言わない。
- 自分の意見も大切にして言うべきことは言って、納得できるようにする。
- 自分の気持ちをコントロールすることが大切。人生は思いどおりにはいかない。

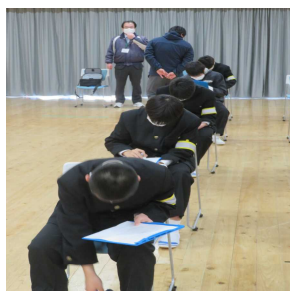
「人間としての成長・感謝」

- 人間性を高めて取り組むことが大切
- 小中で学ぶことは、まず礼儀をしっかり身に付けること。高校や大学では、感謝や人として成長することが結果よりも大切。
- 当たり前は、当たり前ではないことを実感することは大切。高校や大学の寮生活は大変であり、自分がどれくらい家族や周囲の友人から支えられたか分かる。
- 本来人見知りで、あまり人と話すのは得意ではないが、空手道を通して礼儀やマナー、相手を敬う事などを学び対応出来るようになってきた。
- お世話になった方々に恩を返すためには、結果を残すことも大切。空手道の恩は空手道で返す。
- 自分の活動は、多くの方々に支えられたお陰。感謝の気持ちを大切にする。言葉にする。

「見方・考え方の広がり」

- 家族を離れたデメリットもあったが、家事ができるようになったり、家族に感謝できるメリットもあった。

各自の学びを記録用紙に記入する生徒



先生方も積極的に質問して、生徒の学びを深めようと努力していました



自分の学びを一人一人が友人に伝え、学びを広げ、深める交流



●自ら発言が出来ない

○学びを大勢が挙手してお礼を述べる

●恥ずかしい・自信が無い→自分のこと

○お礼を伝える→相手に対する高い非認知能力



私の決意

- 自分で決めたやるべきことを最後までしっかりやる！
- 自分で目標をもち、思っていることを伝え、結果や行動で感謝を伝える。
- 自分で決めて、自分で始める。
- 自分の夢に向けて、困難を乗り越え、努力する。
- 積極的に行動し、友人と励まし合い、感謝の気持ちを持つ。
- 自分の思いを伝え、意見の対立があっても乗り越え、想像以上の姿を3年生に見せる。
- 「自分が変われば、周囲の人も変わる」ということばを大事に、主体的に行動する。
- 目の前のすべきこと一つ一つにしっかり取り組む。活動できることに感謝して活動する。
- 挨拶・礼儀・感謝を大切に、自律性を高め、周囲と協調できる高校生になる。
- 自分の夢に向かって高校生活を頑張る！
- 受験で不安だけれど、逃げずに頑張る！感謝の気持ちを大切にする。
- 高校には必ず合格し、サッカー部を最強にする。そして、勝って恩返しをする！